

「伊賀市生涯学習推進計画（後期）」
策定のためのアンケート調査結果
（概要）

目 次

1	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査対象者	1
3.	調査期間	1
4.	アンケートの配布数と回収率.....	1
5.	調査結果の見方	1
2	調査結果の概要総括.....	2
1.	調査結果の総括	2
2.	後期基本計画における課題.....	16

1 調査の概要

1. 調査の目的

生涯学習アンケートは、平成 19 年 3 月に「伊賀市生涯学習推進大綱」を策定し、前期基本計画が平成 23 年度末に終了することから、後期基本計画策定に向けて市民の皆様の生涯学習に対する活動の状況やご意見・ご要望等をお聞きし、計画策定の資料として活用することを目的に実施

2. 調査対象者

本調査は、市内在住の 16 歳以上の男女 2,000 人を無作為抽出

3. 調査期間

平成 22 年 1 月 19 日（水）～2 月 25 日（火）

4. アンケートの配布数と回収率

対象者と配布数		回収数	回収率
16 歳以上の男女 2,000 人	1,918 票	1,013 票	52.8%
うち中国人	26 票	4 票	15.4%
ブラジル人	56 票	2 票	3.6%

5. 調査結果の見方

- 比率はすべてパーセントで示し、小数点第 2 位で四捨五入しているため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合もある。
- 母数となるべき実数は回答者数として示している。複数回答が可能な設問についても、比率算出の母数は回答者数とし、それぞれの選択肢の比率を算出している。そのため、複数回答が可能な設問は、回答総数が回答者数を上回り、パーセントの合計は 100.0%を超えてる。
- 表中の「-」は、回答者が皆無のものを表す。
- 無回答は「回答していないもの」を表す。
- グラフ・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

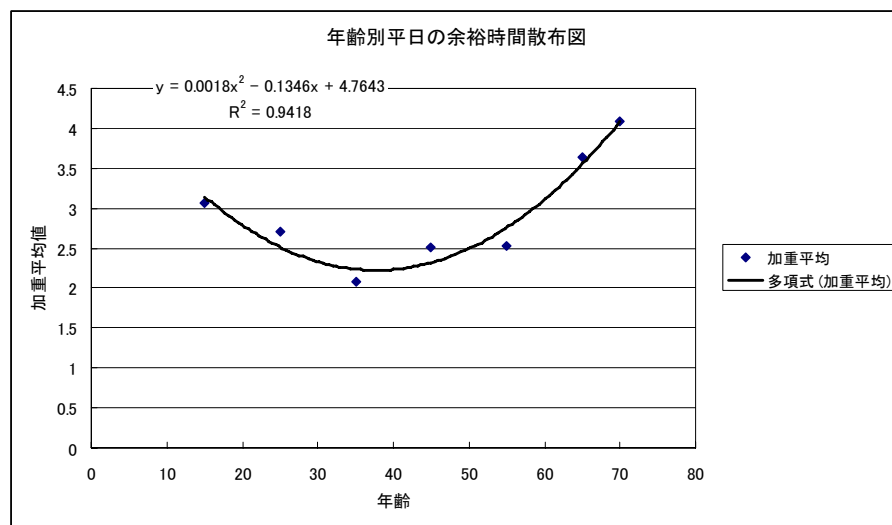
2 調査結果の概要総括

1. 調査結果の総括

(1) 一日のうち自由に使える余暇時間について

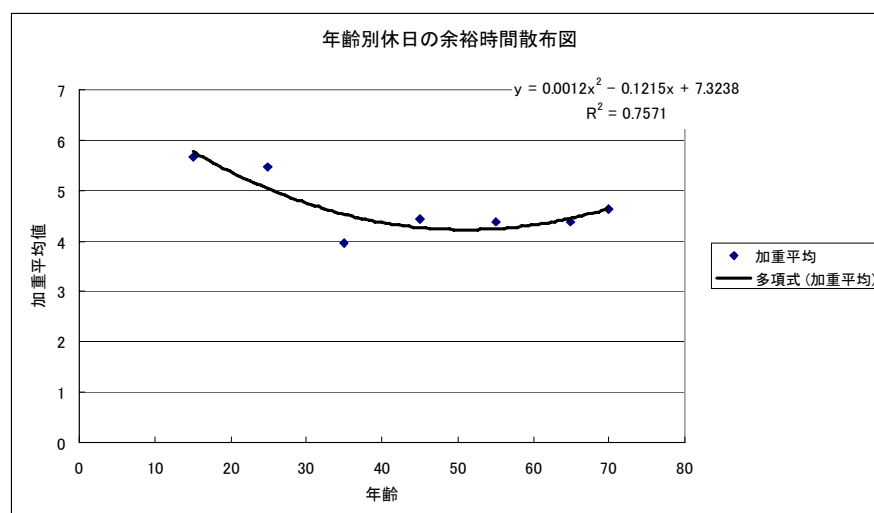
平日に使える余暇時間については、全ての回答の平均で 3.0 時間

- 男女別には男性が 3.2 時間、女性が 3.0 時間
- 年齢別には 30 歳代が最も少なく 2.1 時間で、子育て世代層において、余暇時間がとれない実態が伺える
- 高齢者になるにつれて余暇時間が多くなるといった傾向が以下のグラフから示される



休日に使える余暇時間については、平均で 4.4 時間

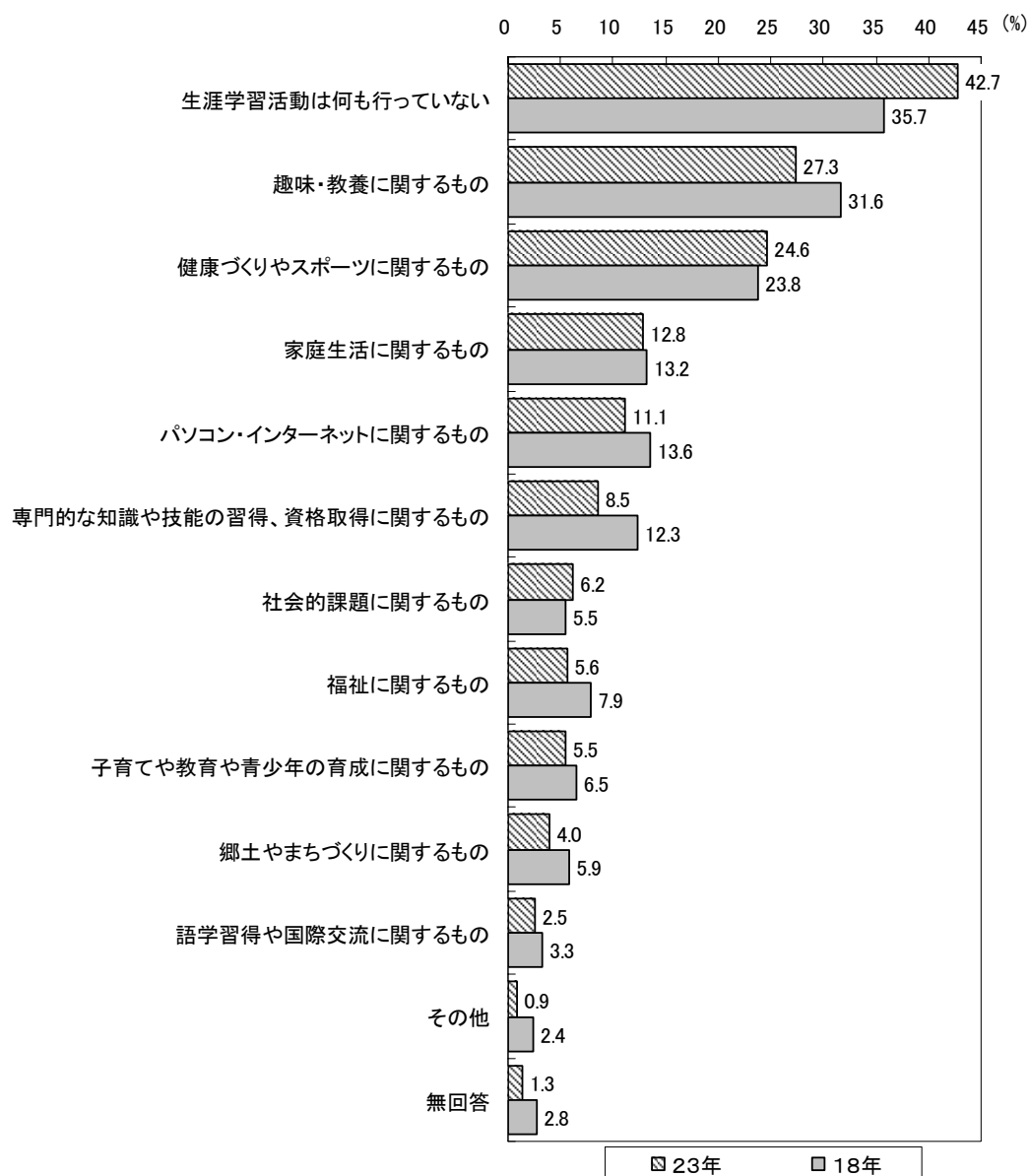
- 男性は 5.1 時間、女性は 4.1 時間
- 世代別には若齢者層の方が時間に余裕があるが、休日においても最も時間に余裕がない世代は 30 歳代で 4.0 時間



(2) 現在行っている生涯学習活動について

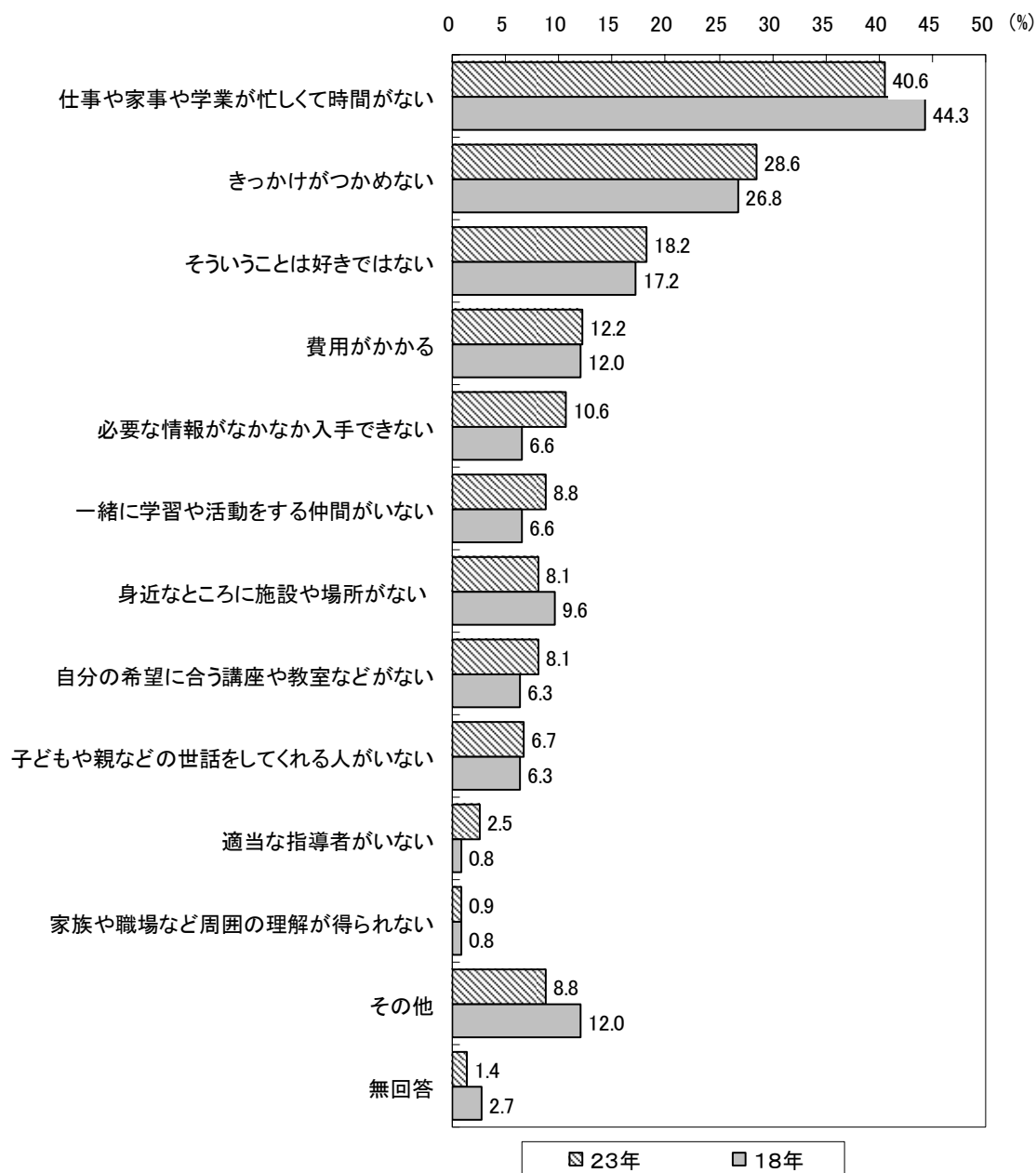
男性は「健康づくりやスポーツに関するもの」、女性は「趣味・教養に関するもの」

- 現在行っている生涯学習活動については、「生涯学習活動は何も行っていない」、「趣味・教養に関するもの（音楽・美術・芸能・文学・歴史など）」、「健康づくりやスポーツに関するもの」等の回答が多い
- 男女別の相違としては、男性は「健康づくりやスポーツに関するもの」に対し、女性は「趣味・教養に関するもの（音楽・美術・芸能・文学・歴史など）」を上げる割合が高い
- 平成 18 年度に実施した調査結果と比較すると、同様の構成となっていますが、「生涯学習活動は何も行っていない」（35.7%）との回答が前回よりも 7.0%増加している一方で、「趣味・教養に関するもの（音楽・美術・芸能・文学・歴史など）」（31.6%）が 4.3%減少

現在行っている生涯学習活動グラフ

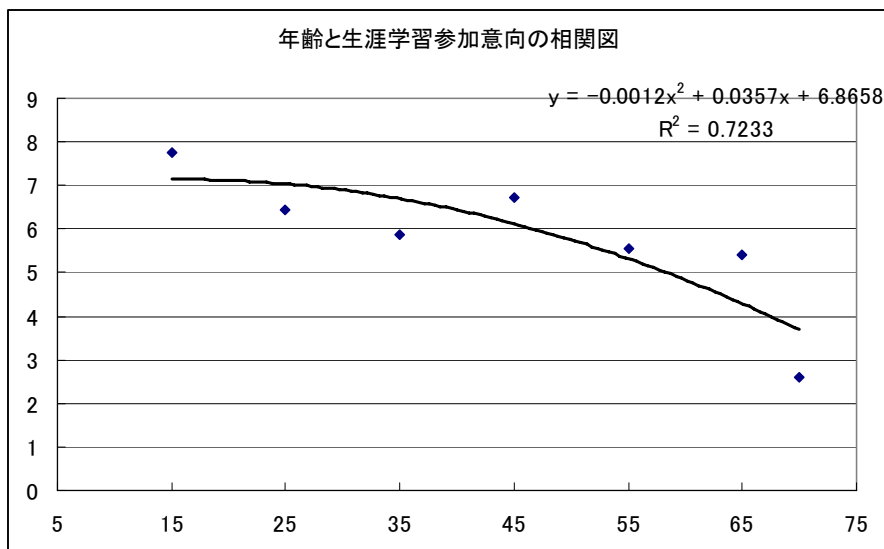
(3) 生涯学習活動を行っていない理由について

- 生涯学習活動を行っていない理由については、「仕事や家事や学業が忙しくて時間がない」という回答が全体の4割を超える値
- こうした傾向は、60歳代を境に「きっかけがつかめない」や「そういうことは好きではない」といった意見に変わるといった回答結果



(4) 今後の生涯学習活動に参加する意向について

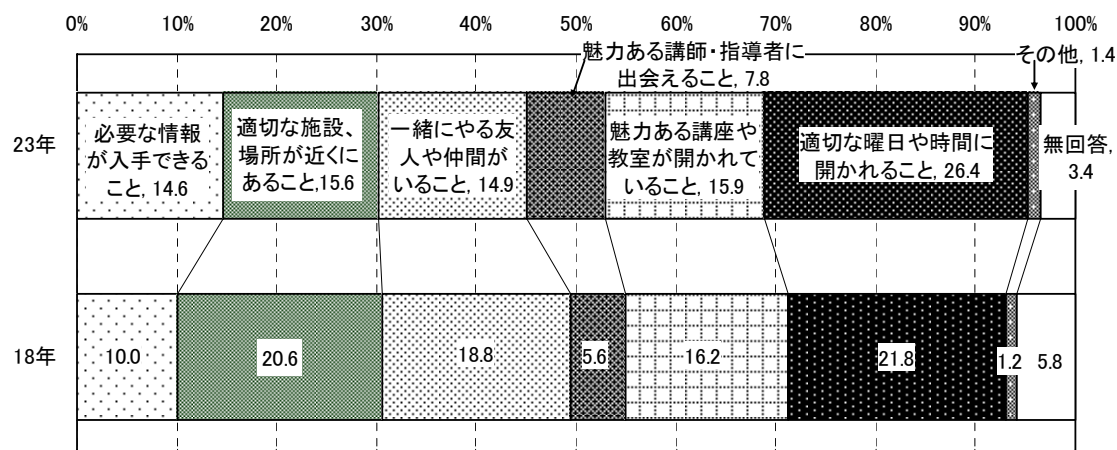
- 今後の生涯学習活動に参加する意向については、「ある」人が約半数を占め、「機会や条件が整えば始めたい」を含めると7割以上の市民が参加意向
- この傾向を年齢別にみると、下のグラフに示すように、年齢を増すにつれ、参加意向が低迷していくといった傾向



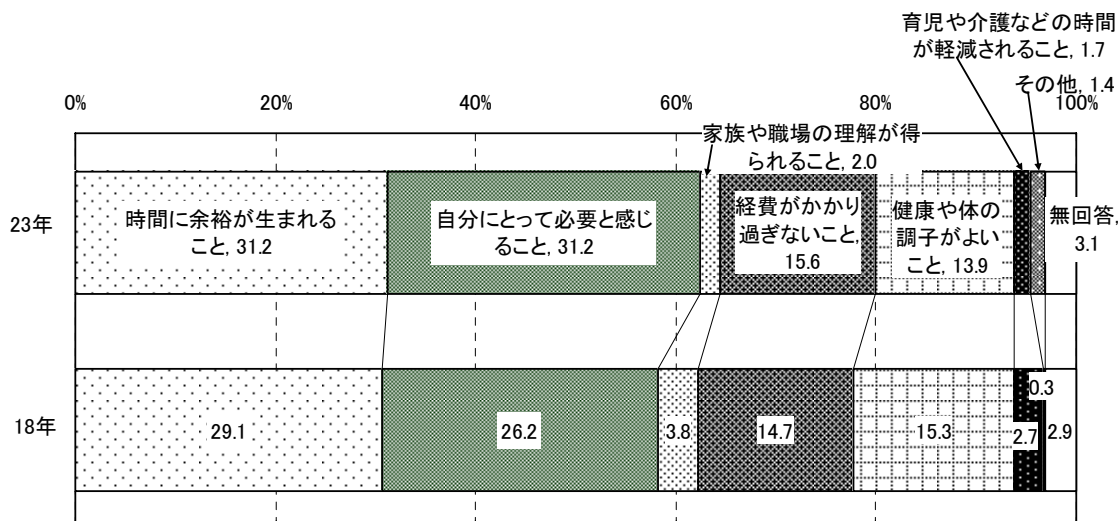
(5) 生涯学習活動をはじめするための機会や条件について

- 生涯学習活動をはじめするための機会や条件として重視するものについては、「適切な曜日や時間に開かれること」との回答が最も多く、次いで「魅力ある講座や教室が開かれていること」、「適切な施設、場所が近くにあること」の順
- また、(4) 今後の生涯学習活動に参加する意向についての問いに対し、「機会や条件が整えば始めたい」との回答者が生涯学習活動をはじめするための条件として重視するものとしては、「時間に余裕が生まれること」、「自分にとって必要と感ずること」が最も多く、次いで「経費がかかり過ぎないこと」、「健康や体の調子がよいこと」という順

生涯学習活動をはじめための機会

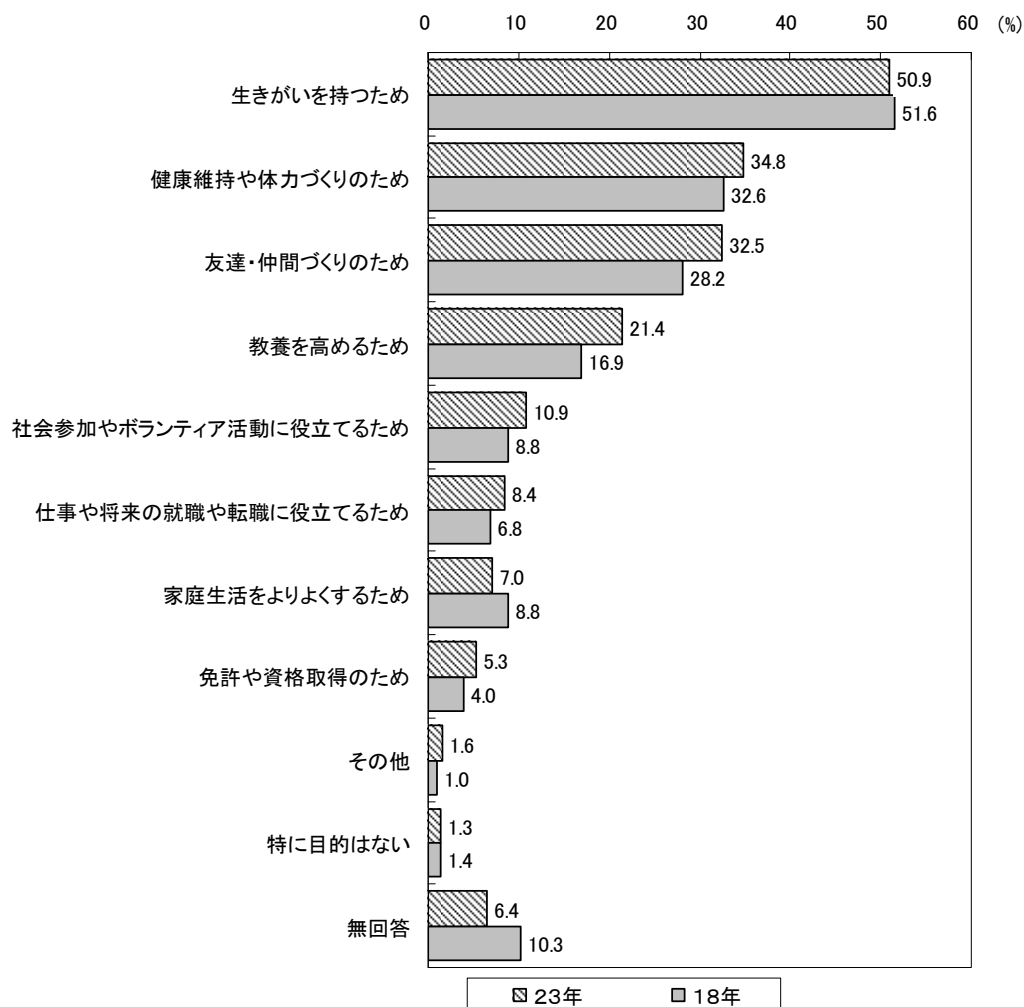


生涯学習活動を始めるための条件



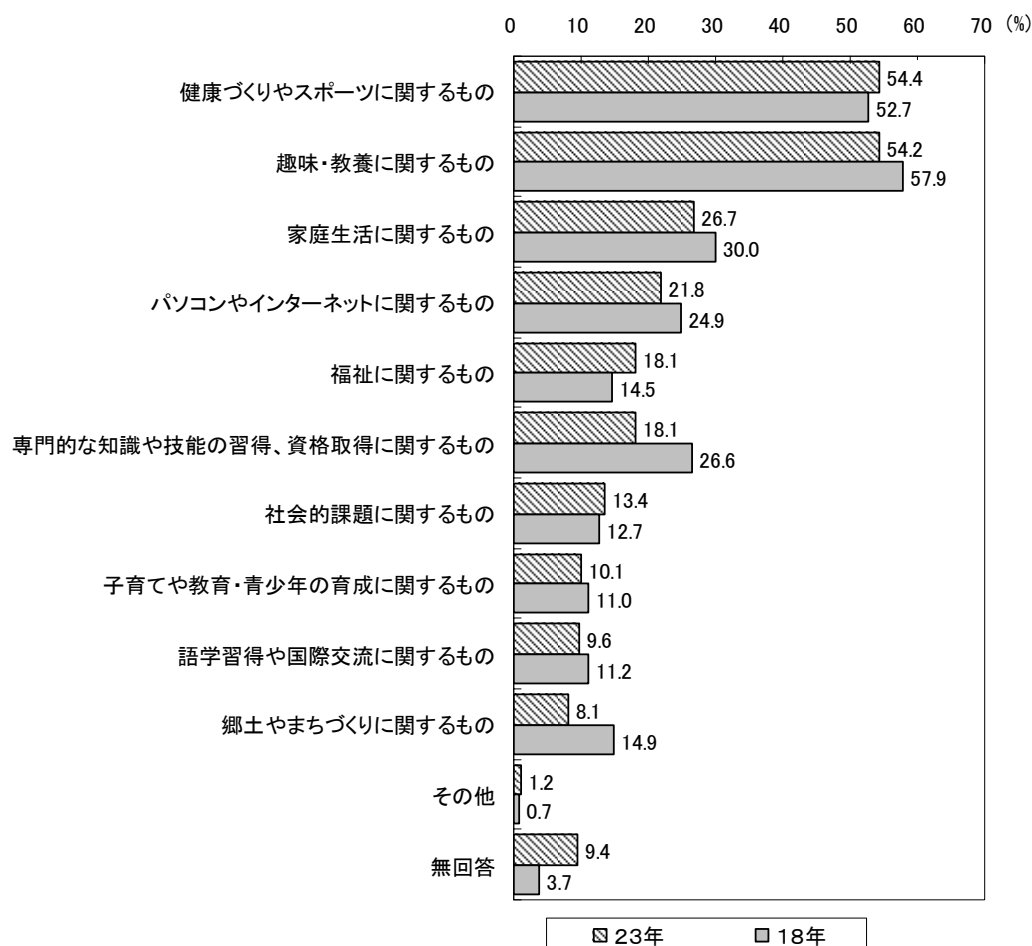
(6) 生涯学習活動を行いたい理由について

- 生涯学習活動を行いたい理由については、「生きがいを持つため」が過半数を占め、「健康維持や体力づくりのため」、「友達・仲間づくりのため」という順
- こうした傾向は性差に関係なく「生きがいを持つため」といった考え方が示される



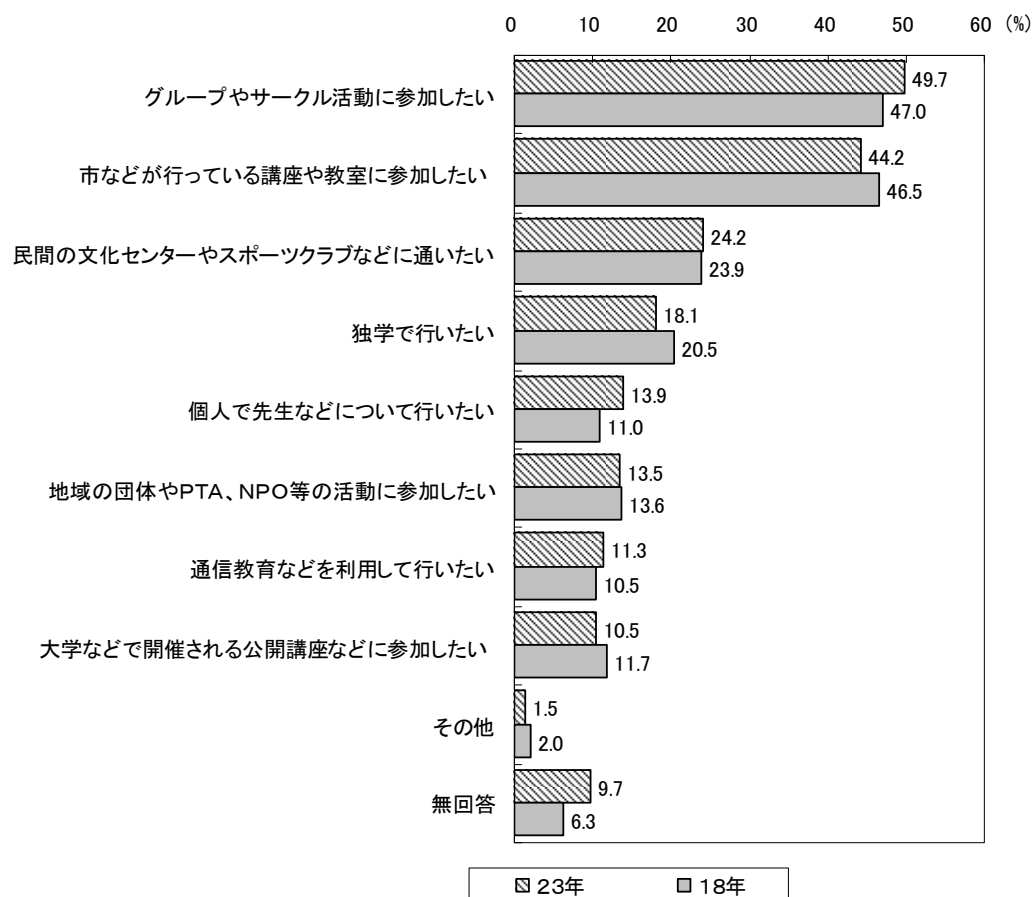
(7) 今後行いたい生涯学習活動について

- 今後行いたい生涯学習活動については、「健康づくりやスポーツに関するもの」、「趣味・教養に関するもの（音楽・美術・芸能・文学・歴史など）」で過半数を占め、次いで「家庭生活に関するもの（料理・洋裁・日曜大工など）」の回答が多い
- 男女別には、男性では「健康づくりやスポーツに関するもの」、女性では「趣味・教養に関するもの（音楽・美術・芸能・文学・歴史など）」の回答が最も多い



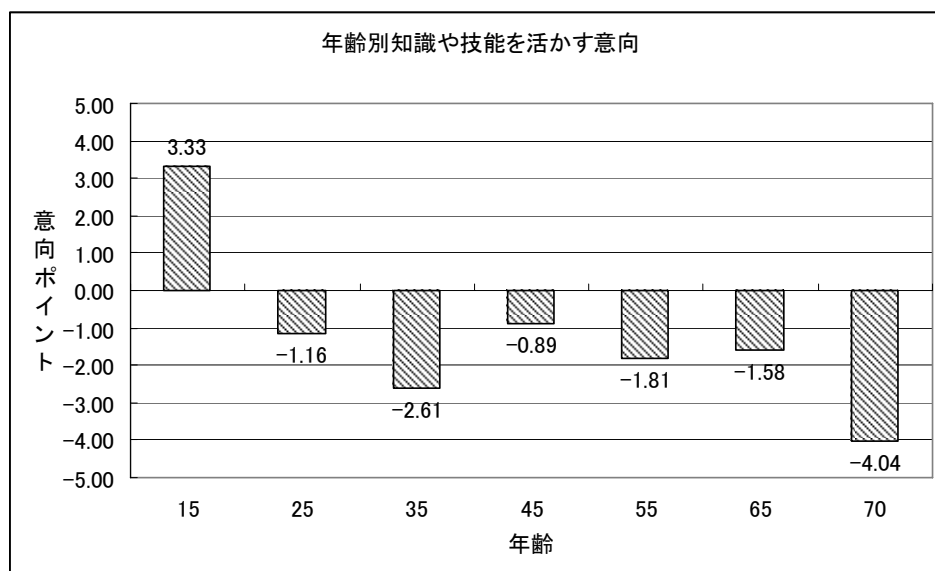
(8) 今後、生涯学習活動を行う方法について

- 今後、生涯学習活動を行う方法については「グループやサークル活動に参加したい」がほぼ半数で、次いで「市などが行っている講座や教室に参加したい」、「民間の文化センターやスポーツクラブなどに通いたい」の順
- こうした傾向は性差に関係なく「グループやサークル活動に参加したい」といった考え方が示される

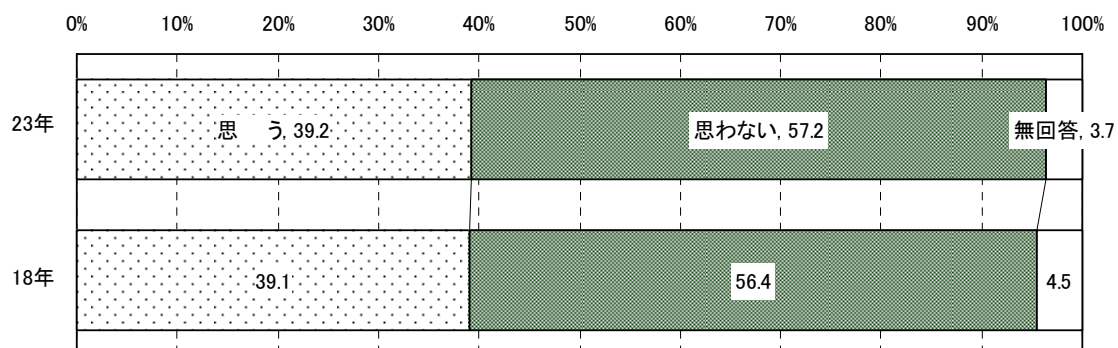


(9) 知識や技能を活かす意向について

- 知識や技能を活かす意向について、は「思わない」人が、「思う」より多く全体の約6割を占めている
- 年齢別にこの傾向をみると、10歳代の回答者では、「思う」といった考え方が示されていますが、他の世代では「思わない」と考える人が多い

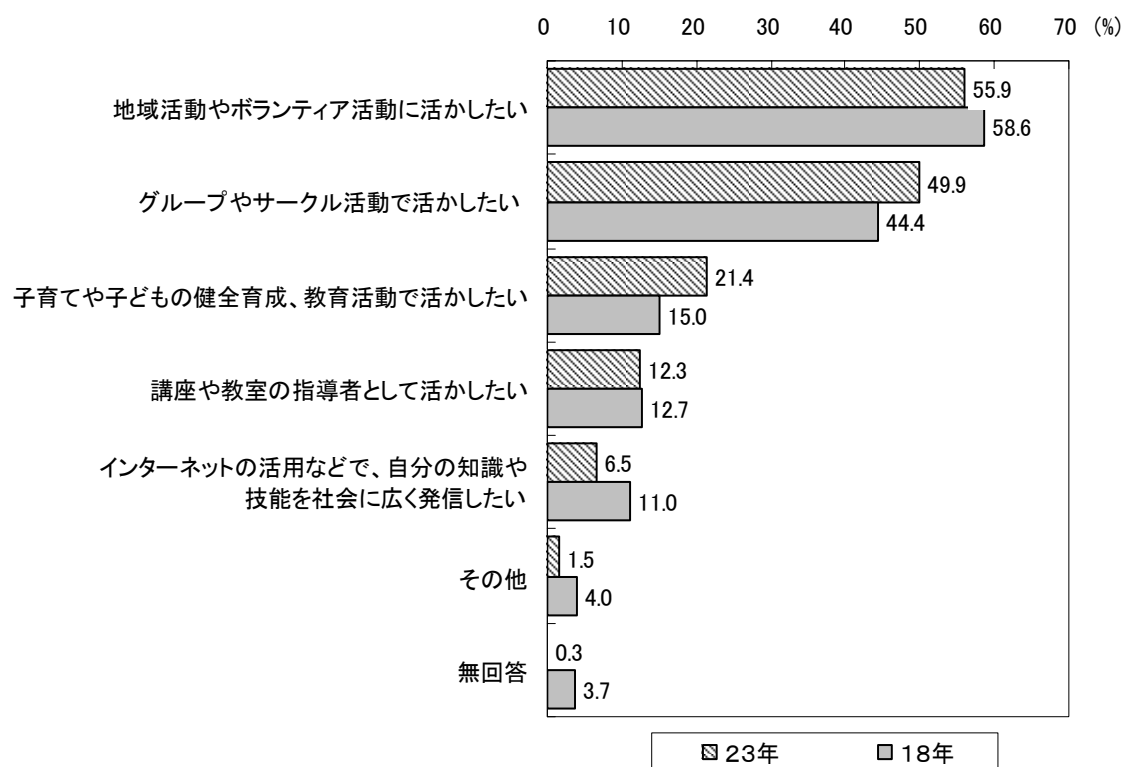


知識や技能を活かす意向



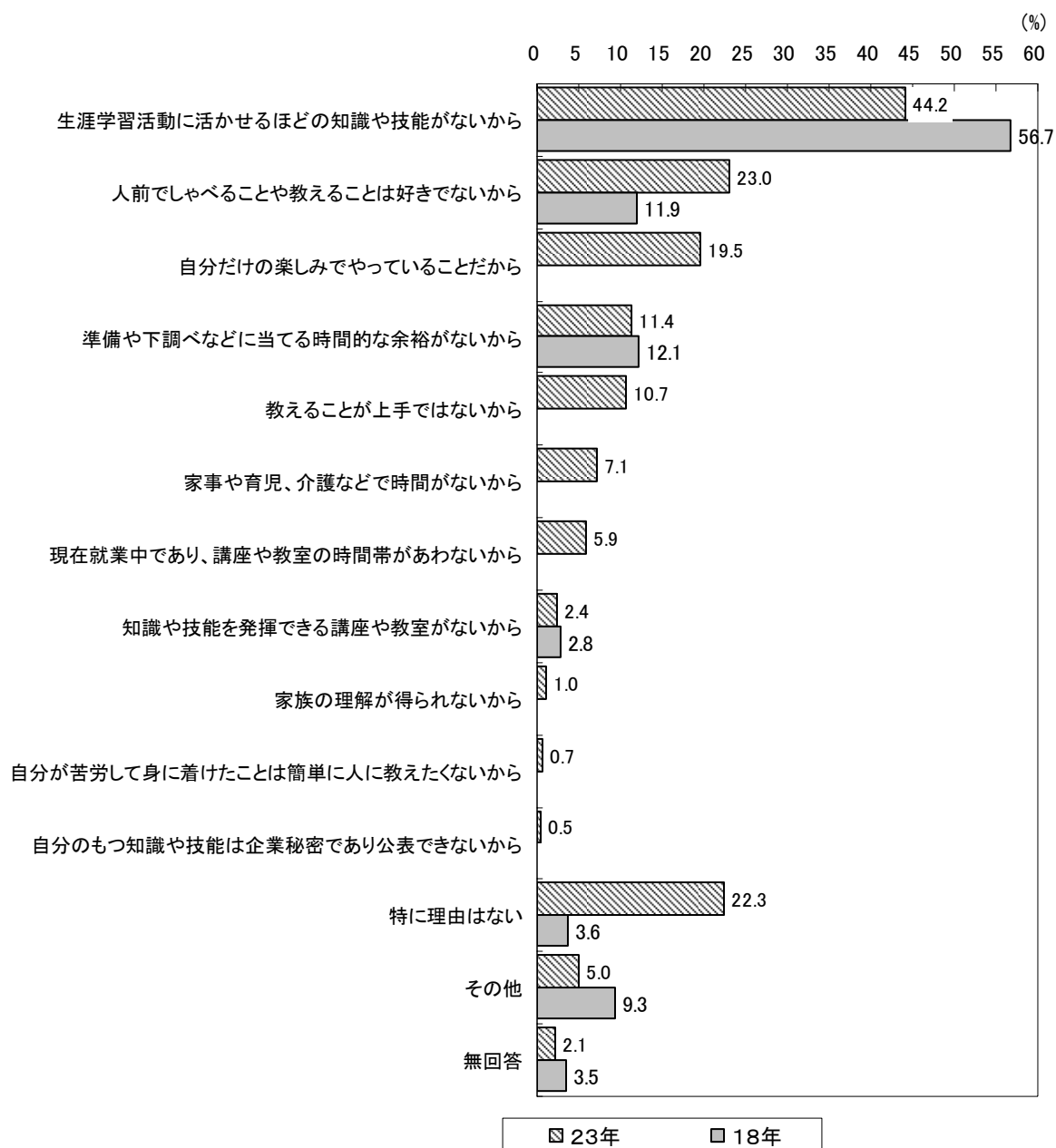
(10) 知識や技能を活かす方法について

- 知識や技能を活かす方法については、「地域活動やボランティア活動に活かしたい」、「グループやサークル活動で活かしたい」が過半数を占め、「子育てや子どもの健全育成、教育活動で活かしたい」がこれに続く回答
- 男女とも「地域活動やボランティア活動に活かしたい」との回答が多く、こうした活動と生涯学習を絡めた方向性が示されている



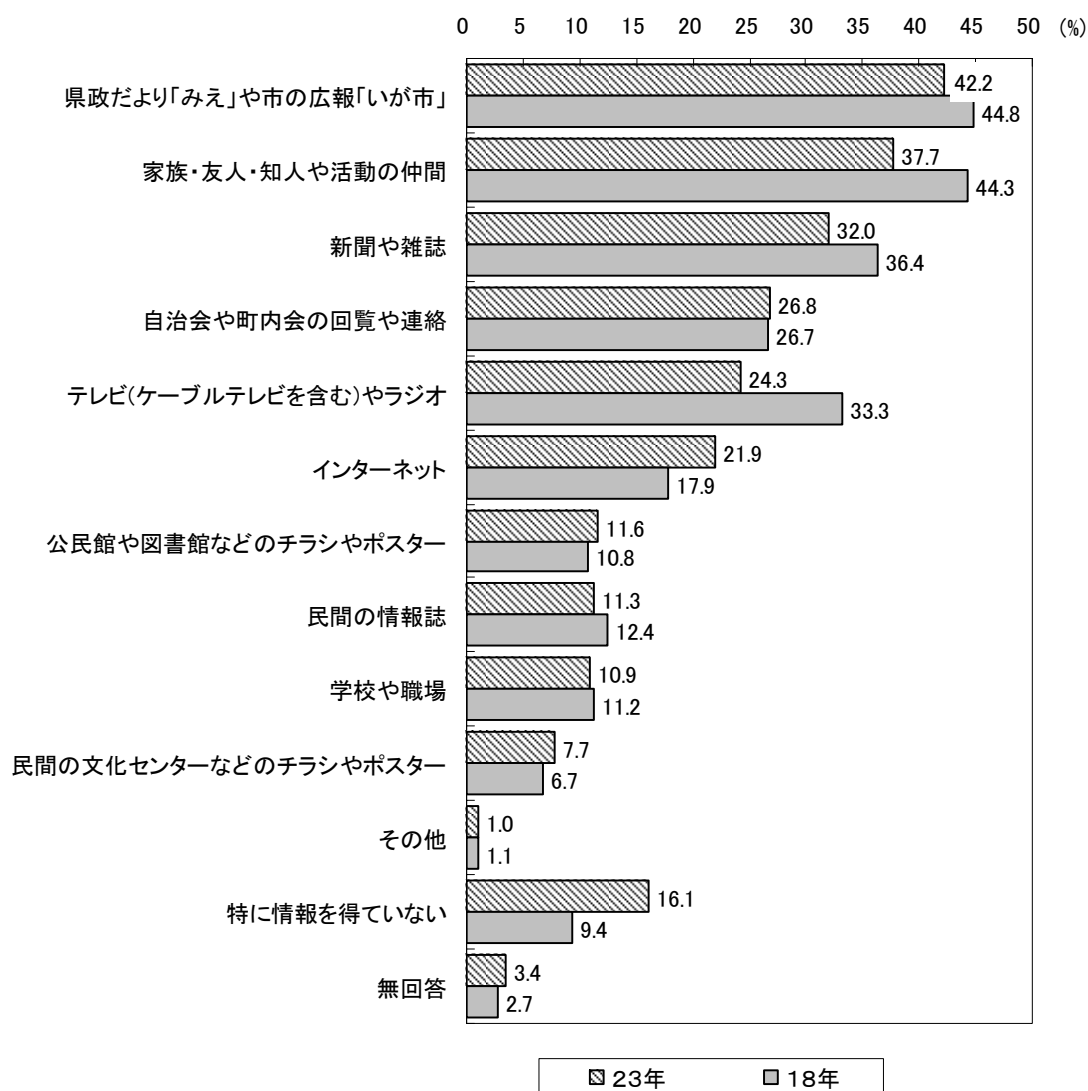
(11) 知識や技能を活かしたいと思わない理由について

- 知識や技能を活かしたいと思わない理由については、「生涯学習活動に活かせるほどの知識や技能がないから」が最も多く、次いで「人前でしゃべることや教えることは好きでないから」、「自分だけの楽しみでやっていることだから」の順
- また、男女ともに「生涯学習活動に活かせるほどの知識や技能がないから」という回答が最も多い



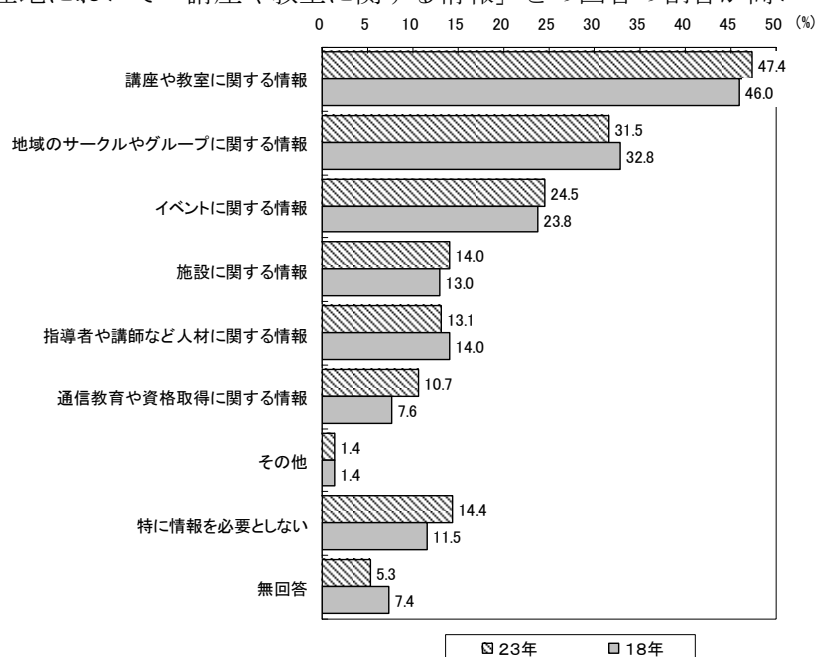
(12) 生涯学習活動に関する情報を得る手段について

- 生涯学習活動に関する情報を得ている主な手段は、「県政だより「みえ」や市の広報「いが市」」が一番多く、次いで「家族・友人・知人や活動の仲間」、「新聞や雑誌」という順
- 年齢別には、10歳代では「家族・友人・知人や活動の仲間」と「インターネット」、20歳代及び30歳代では「インターネット」、40歳代以上では「県政だより「みえ」や市の広報「いが市」」との回答の割合が高い



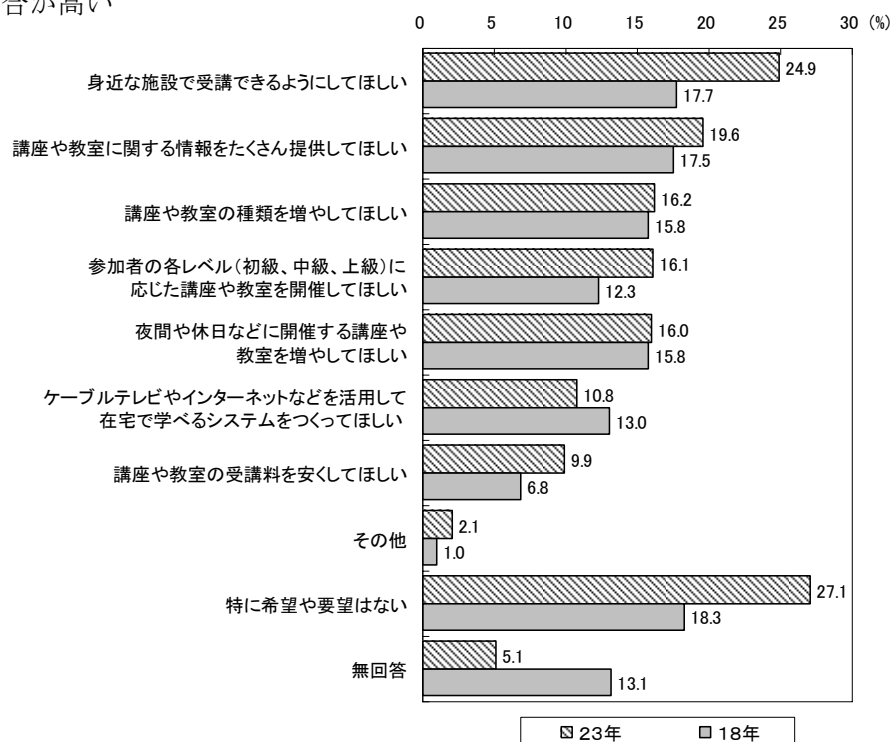
(13) 生涯学習活動に求める情報について

- 生涯学習活動に求める情報については、「講座や教室に関する情報」、「地域のサークルやグループに関する情報」、「イベントに関する情報」の順
- また、全居住地において「講座や教室に関する情報」との回答の割合が高い



(14) 市などが行っている生涯学習活動に関する意見について

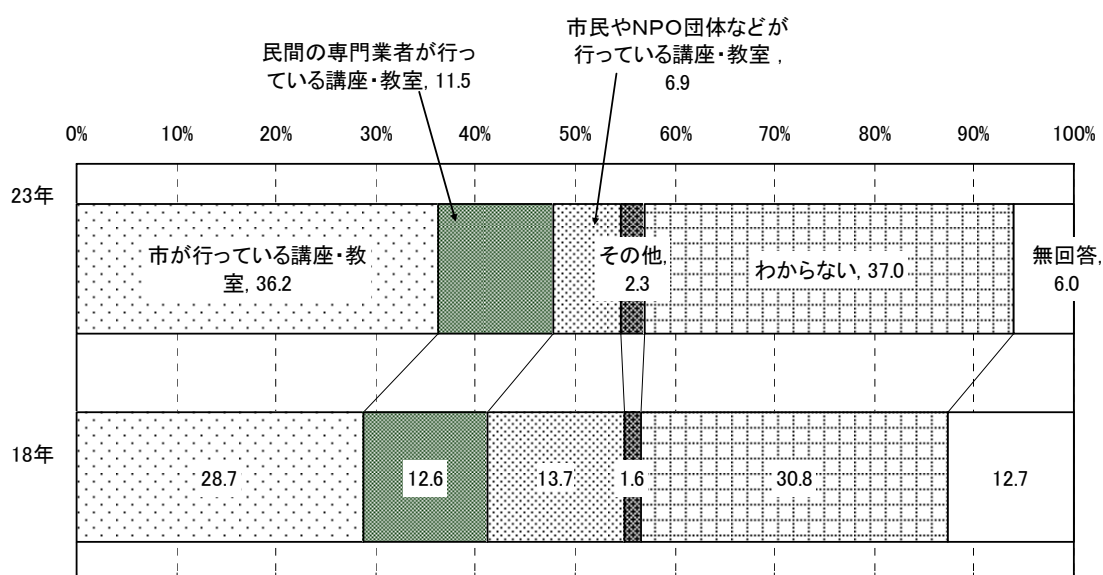
- 市などが行っている講座や教室に対する意見は、「身近な施設で受講できるようにしてほしい」、「講座や教室に関する情報をたくさん提供してほしい」、「講座や教室の種類を増やしてほしい」の順
- 男性の回答においては「講座や教室に関する情報をたくさん提供してほしい」をあげる割合が高く、女性の回答においては「身近な施設で受講できるようにしてほしい」をあげる割合が高い



(15) 関心のある生涯学習活動について

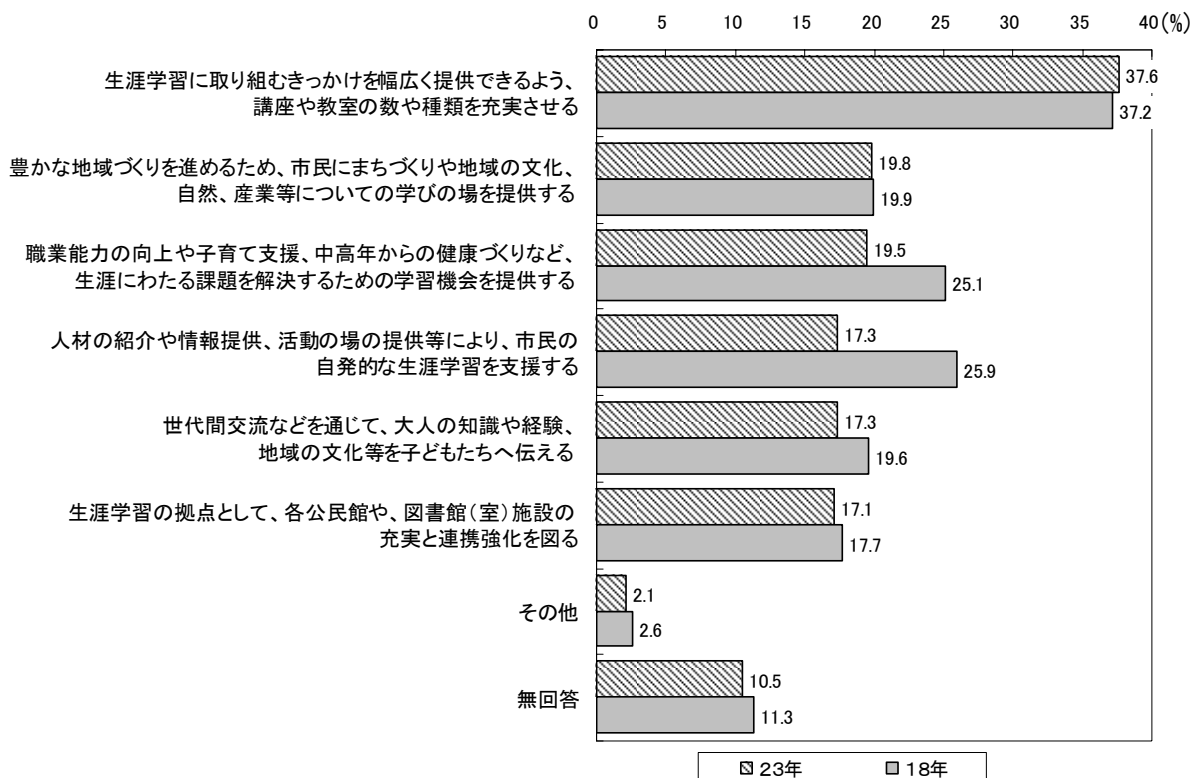
- 関心のある生涯学習活動については「市が行っている講座・教室」、「民間の専門業者が行っている講座・教室」、「市民やNPO団体などが行っている講座・教室」の順となっていますが、男女別には、男女とも「市が行っている講座・教室」に関心が高い
- また、「市が行っている講座・教室」を望む割合は、「民間の専門業者が行っている講座・教室」の約3倍の値

関心のある生涯学習活動



(16) 生涯学習活動を盛んにするために市が行うことについて

- 生涯学習活動を盛んにするために市が行うことは、「生涯学習に取り組むきっかけを幅広く提供できるよう、講座や教室の数や種類を充実させる」が半数を超える高い割合を占め、これに次いで「豊かな地域づくりを進めるため、市民にまちづくりや地域の文化、自然、産業等についての学びの場を提供する」、「職業能力の向上や子育て支援、中高年からの健康づくりなど、生涯にわたる課題を解決するための学習機会を提供する」の順
- また、男女とも「生涯学習に取り組むきっかけを幅広く提供できるよう、講座や教室の数や種類を充実させる」と回答した回答者が多い



(17) 市の生涯学習推進事業の認知状況について

- 市の生涯学習推進事業の認知状況について、「伊賀市生涯学習推進大綱」を策定し、生涯学習についてさまざまな取り組みに関する認知については、約7割以上の回答者が「知らなかった」と回答しており、今後生涯学習推進事業の周知が求められている

2. 後期基本計画における課題

アンケート調査結果より、今後の計画に向けた主な課題を以下に整理する。

(1) 生涯学習活動の周知について

「伊賀市生涯学習推進大綱」に基づく生涯学習推進事業の周知が求められている

(2) 生涯学習活動への参加促進に向けた対応

自由に使える余暇時間等を考慮し、世代に応じた生涯学習メニューや開催時間などを検討していくことが必要

(3) 知識や技能を活かす方法について

知識や技能を活かす方法については、「地域活動やボランティア活動に活かしたい」との回答が多ことから、こうした活動と生涯学習を絡めた方向性が示されており、これに応じた対策を検討していくことが必要

(4) 生涯学習活動に参加する意向について

生涯学習活動に参加する意向については、「機会や条件が整えば行いたい」との回答が過半数を超え、「ある」との回答を含めると、潜在的な生涯学習活動に参加する意向が伺えることから、今後参加条件の整備に向け、活動の時間帯、場所などに留意した生涯学習環境の整備を検討していくことが必要

(5) 関心のある生涯学習活動の分野について

関心のある生涯学習活動の分野については、健康づくりやスポーツに関するものをあげる回答割合が多く、また趣味に関するものも多くなっていることから、年齢層や性差に配慮した活動環境を提供することが必要

(6) 生涯学習活動を行う方法について

生涯学習活動を行う方法については、グループやサークル活動に参加したいとの回答が多いことから、集団での参加が可能な活動メニューの検討が求められている

(7) 加齢とともに参加思考が低下

年齢を増すにつれ、参加意向が低迷していくといった傾向にあり、元気高齢者や生きがい創出に向けた活動展開が必要

(8) 活動経費について

今後の生涯学習活動に参加する意向について、生涯学習活動を始めるための条件として重視するものとしては、「時間に余裕が生まれること」、「自分にとって必要と感ずること」「経費がかかり過ぎないこと」があげられ、余暇はあるものの活動経費がかかり過ぎないことが要点

(9) 生きがいや友達づくり

生涯学習活動を行いたい理由については、「生きがいを持つため」が過半数を占め、「健康維持や体力づくりのため」、「友達・仲間づくりのため」が多く、今後の活動展開において留意が必要

(10) 知識や技能を活かす方法

知識や技能を活かす方法については、「地域活動やボランティア活動に活かしたい」、「グループやサークル活動で活かしたい」が過半数を占め、「子育てや子どもの健全育成、教育活動で活かしたい」がこれに続く回答で、男女とも「地域活動やボランティア活動に活かしたい」との回答が多く、生涯活動と生涯学習を絡めた方向性が示唆